

福井県老人クラブ連

題字／吉川 壽一 書

発行
一般財団法人 福井県老人クラブ連合会
〒910-0026
福井市光陽2丁目3-22(福井県社会福祉センター内)
TEL.0776-24-4853 FAX.0776-24-4580
E-mail : fukuirr@yacht.ocn.ne.jp
HP : <http://fukui-rouren.jp>

2017 Vol.151

平成29年9月

～のばそう!健康寿命、担おう!地域づくりを～

就任のごあいさつ

一般財団法人 福井県老人クラブ連合会
会長 八十島 幸雄



平成29年6月、県老人クラブ連合会の役員改選に伴いまして、会長に就任いたしました。会員の皆様には、日頃から県老人クラブ連合会の事業推進につきまして格別のご理解、ご協力をいただきまして厚くお礼申し上げます。

老人クラブはこれまで地域の一員として健康づくりや友愛活動、生きがい活動などを通じ地域づくりを目指し取り組んでまいりました。

介護保険制度が改正され、平成27年度から3年間に於いて要支援者への介護サービスの一部が各市町の事業へ移行され、新地域支援事業(介護予防・日常生活支援総合事業)として取り組んでいくことになっております。

既に、多様な交流の場である「サロン」の開設などが市町の新地域支援事業として認められ活動しているところもあります。

実施計画の取りまとめがこれからの市町では、その協議の場に市町老連が積極的に参画して老人クラブが行う事業(活動)について理解を求め、提案していくことが重要となっております。

老人クラブが高齢者の在宅生活を支える事業に取り組むことにより、老人クラブ活動への理解が進み、「1万人会員増強運動」の推進につながるものと考えております。

今後とも、皆様方のご支援、ご協力をお願い申し上げますとともに、ますますご健康でご活躍されますことをご祈念しまして就任のあいさつといたします。

目次

会長就任のあいさつ	1
事業計画・役員紹介・予算・事業予定	2～4
「1万人会員増強運動」の推進(H28年度結果)・5	
高齢者の交通事故を未然に防ぐ活動	6

県老連事業報告	7～11
・老人家庭相談員研修会	
・女性リーダーセミナー	
・東海北陸ブロック	
老人クラブリーダー研修会	
悪質業者は高齢者を狙っている!!	12

平成29年度事業計画

I. 基本方針

老人クラブは仲間づくりを基本に、生きがいづくり、健康づくり、地域づくりをめざして幅広い活動に取り組んできました。

高齢者が増え続けるわが国は、要介護者の増加や高齢者の孤立、消費者被害などの課題に直面するなかで、いま各市町では、新地域支援事業（介護予防・日常生活総合支援事業）に取り組み、地域で高齢者を支える体制の整備が急がれています。

私たち老人クラブは、これまでの活動経験とともに、高齢者の暮らしを支えるため、行政や自治会、社会福祉協議会などの関係団体と共に、あたたかな地域づくり活動への参画をめざしています。

また、仲間の輪を広げる会員増強運動は、5年計画の4年目を迎え、これまでの声かけや体験型の勧誘に加え、自治会と連携した取り組みを行うなど、運動の強化を図る必要があります。

平成30年には、本県において「福井しあわせ元気国体」が開催されます。スポーツの感動を広め、未来へつながる国体を実現するために、県民が一体となった気運の醸成が求められています。

福井県老人クラブ連合会は、「のぼそう！健康

寿命、担おう！地域づくりを」の全国統一メッセージを踏まえ、県をはじめ各行政機関や関係諸団体の協力・支援を得ながら市町老人クラブ連合会と連携を密にして積極的に各種事業を推進していきます。

II. 推進事項

一、福井県老人クラブ「1万人会員増強運動」の推進

一、高齢者の暮らしを支える「新地域支援活動」への参画

一、健康寿命をのぼす「健康づくり・介護予防活動」の充実

一、消費者被害防止に向けた活動の実践

一、高齢者の尊厳が守られる社会保障制度の確立

一、国体に向けた「宣言」の実践（平成27年6月16日 会長会議において採択）

III. 事業実施計画

1. 高齢者の健康づくり及び介護予防推進事業

- ① 高齢者健康・生きがい講座事業
- ② 高齢者スポーツ振興事業
- ③ 高齢者地域交流ウォーキング事業
- ④ 健康づくり推進員派遣事業

- ⑤ 県老連会長杯公式ワナゲ交流大会事業
- ⑥ ふくい健康長寿祭参加活動事業
- ⑦ ラジオ体操・いきいきクラブ体操及び体力測定

2. 高齢者相互支援及び地域支え合い活動等、暮らしの安全・安心推進事業

- ① 友愛募金運営事業
- ② お年寄りふれあい訪問事業
- ③ 「新地域支援事業」に向けての取り組み
- ④ 防犯、防災、交通安全活動の推進
- ⑤ 子ども見守り活動の推進

3. 老人クラブ育成指導推進事業

- ① 老人クラブ指導者研修開催事業（市町老連への助成事業）
- ② 女性リーダーセミナー開催事業
- ③ 福井県老人クラブ大会事業（第44回大会）
- ④ 全老連等研修会参加事業
- ⑤ 全国老人クラブ大会参加事業

4. 会員増強・クラブ活性化の取り組み

- ① 老人クラブ「1万人会員増強運動」
 - ② 年間1クラブ2名純増で1万人への推進
- 会員純増クラブ・市町老連表彰

③ 活動賞・優良老人クラブ表彰

5. 広報活動推進事業

- ① 機関誌「福井県老連」年2回発行
② ホームページ運営

6. 全国運動・全国共通目標の取り組み

- ① 老人クラブ「100万人会員増強運動」の推進
② 新地域支援事業への取り組み
③ 全国三大運動（健康・友愛・奉仕）の推進

- ④ 「老人の日」「老人週間」の取り組み
⑤ 全国二斉「社会奉仕の日」の取り組み
⑥ 老人クラブ傷害保険・賠償責任保険の加入促進
⑦ 老人クラブ会員章の普及

7. 法人運営

- ① 役員会等の開催
② 関係機関との連携
③ 予算及び事業執行方針

今年度の役員・評議員が決定しました！

役員紹介

顧問	西川 一誠	(福井県知事)	常務理事	田中 喜吉	(県老連事務局長)
会長	八十島 幸雄	(越前市)	監事	廣部 重紀	(福井市)
副会長	板谷 悌三	(福井市)	"	森 茂樹	(敦賀市)
副会長	早 誠紀	(小浜市)			
副会長	藤本 澄子	(県老連女性委員長)			
理事	竹中 弘	(敦賀市)			
"	山本 鐵夫	(大野市)			
"	伊藤 俊一	(勝山市)			
"	山下 忠	(鯖江市)			
"	浅田 茂吉	(あわら市)			
"	五十嵐 二三男	(坂井市)			
"	和田 高枝	(永平寺町)			
"	相木 正勝	(池田町)			
"	杉本 哲男	(南越前町)			
"	池上 栄一郎	(越前町)			
"	植村 光男	(美浜町)			
"	山下 孝之	(高浜町)			
"	湯上 忠明	(おおい町)			
"	中島 正昭	(若狭町)			
"	高松 康二	(県社協専務理事)			

評議員紹介

西川 征男	(福井市)
岩本 康久	(小浜市)
今田 一榮	(坂井市)
三上 利明	(鯖江市)
福住 純一	(越前市)
和昭 十四	(永平寺町)
三田 幸男	(高浜町)
重久 博子	(県老連女性副委員長)
船本 麻央	(県長寿福祉課長)

今年度もどうぞよろしくお願いいたします。



平成29年度 収支(損益)当初予算書

収入の部	科 目	当初予算額	附 記
	基本財産等運用益	213,000	
	分担金収入	7,317,000	国庫クラブ @7,000 円 その他クラブ @1,000 円
	受取補助金	15,584,000	1. 福井県老連事業補助金 2. 活動推進員助成 3. お年寄りふれあい訪問事業 4. 高齢者元気活躍支援事業 5. 地域交流ウォーキング事業 6. スポーツ振興事業
	受取負担金	1,685,000	参加者負担金（研修会参加等の参加者負担分）
	受取寄付金	9,750,000	友愛募金
	委 託 金	1,300,000	県社協・県健康管理協会委託金
	雑 収 益	694,000	預金利息等
	収 入 合 計	36,543,000	

支出の部	科 目	当初予算額	附 記
	事 業 費	7,988,000	1. 高齢者の健康づくり及び介護予防推進事業
		10,656,000	2. 高齢者相互支援及び地域支え合い活動等、暮らしの安全・安心推進事業
		5,013,000	3. 老人クラブ育成指導推進事業
		914,000	4. 広報活動推進事業
		14,124,000	事業費 共通経費
	管 理 費	4,303,000	
	支 出 合 計	42,998,000	

収支（損益）差額 △ 6,456,000

平成29年度 事業予定表

(29年4月1日～30年3月31日)

月	日・曜日	県 老 連 関 係	日・曜日	全 老 連 ・ 他 団 体
5	12(金)	女性委員会	26(金)	女性代表者会議
	16(火)	監事監査・第1回理事会		
	30(火)	第1回評議員会		
6	2(金)	第2回理事会・表彰選考委員会	12(月)～13(火)	全国事務局長会議
	15(木)	事務担当者連絡会議	19(月)	評議員会
			20(火)～21(水)	東海・北陸ブロック局長会議(名古屋市)
7	13(木)	老人家庭相談員研修会(嶺南・敦賀)	6(木)～7(金)	東海・北陸ブロック研修会(岐阜県)
	20(木)	老人家庭相談員研修会(嶺北・鯖江)		
8	3(木)～4(金)	女性リーダーセミナー	8(火)～9(水)	都道府県指定都市老連中央セミナー
9	4(月)	表彰選考委員会	9(土)～12(火)	第30回全国健康福祉祭(秋田県)
		予算要望	15(金)	老人の日「老人週間」15～21日
			16(土)	ふくい健康長寿祭2017
			20(水)	全国一斉社会奉仕の日
10	5(木)	友愛募金運営委員会	18(水)～19(木)	全国老人クラブ大会(京都府)
	25(水)	第44回県老人クラブ大会(勝山市)		
11	17(金)	公式ワナゲ交流大会	16(木)～17(金)	第29回女性リーダーセミナー
12			4(月)～5(火)	全国老連会長会議
1	18(木)	第3回理事会	24(水)～25(木)	東海・北陸B/L会長局長会議(三重県)
			31(水)～2/1(木)	在宅福祉を支える友愛セミナー
2	20(火)	予算連絡会議	7(水)	全国老連局長会議
			21(水)～23(金)	老人クラブ健康づくり中央セミナー
3	9(金)	第4回理事会	15(木)	評議員会
	16(金)	第2回評議員会		

福井県老人クラブ 「1万人会員増強運動」の推進

～年間1クラブ2名純増で1万人～



県老人クラブ連合会では、平成26年度から30年度までの5年間で運動期間として「1万人会員増強運動」を推進しております。

老人クラブの役員をはじめ会員の皆様には、この間非会員への声掛けや勧誘活動等に積極的に取り組んでいただいているところですが、平成28年度（3年次）の取り組み結果は、全体で会員数は前年度比2,101人減の56,533人、クラブ数も15クラブ減の1,074クラブとなり、3年連続での減少になっております。

このように会員数が減少する中、越前市いきいきシニアクラブ連合会では、交流の場である『サロン』の開設をととして新規単位クラブの立ち上げや会員の増強活動に取り組み、21人増の成果をあげています。

また、単位クラブでは、県内62クラブが5人以上の増となっています。

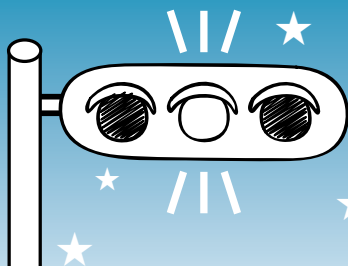
会員増強運動も4年目に入っております。これまでの声かけや体験型の勧誘に加え、自治体と連携した取り組みを行うなど運動を強化していただくようお願いいたします。

今後の取り組みの重点

- ①単位クラブはあと1人の加入増を
- ②休会・解散クラブの防止
- ③未結成地域に新規クラブを

平成28年度（3年次）会員増強運動結果（クラブ数・会員数）

市 町 名	ク ラ ブ 数				会 員 数 (人)				
	27年度	28年度	29年度	29-28 増 減	27年度	28年度	29年度	29-28 増 減	会員増強年 間目標数
福 井 市	198	191	181	- 10	9,870	9,334	8,802	- 532	+ 404
敦 賀 市	100	96	96	0	5,153	4,876	4,747	- 129	+ 200
小 浜 市	71	69	66	- 3	3,516	3,460	3,214	- 246	+ 140
大 野 市	69	69	70	1	3,585	3,459	3,324	- 135	+ 138
勝 山 市	44	42	42	0	1,986	1,807	1,762	- 45	+ 94
鯖 江 市	86	81	78	- 3	4,111	3,853	3,695	- 158	+ 184
あ わ ら 市	60	59	57	- 2	3,456	3,368	3,220	- 148	+ 122
越 前 市	122	121	127	6	7,133	6,880	6,901	+ 21	+ 250
坂 井 市	88	87	84	- 3	5,068	4,929	4,624	- 305	+ 182
永 平 寺 町	30	31	31	0	1,851	1,839	1,835	- 4	+ 60
池 田 町	9	9	8	- 1	584	544	505	- 39	+ 20
南 越 前 町	23	23	23	0	1,881	1,824	1,786	- 38	+ 46
越 前 町	49	49	50	1	3,606	3,601	3,517	- 84	+ 98
美 浜 町	32	30	29	- 1	2,084	1,943	1,840	- 103	+ 64
高 浜 町	38	38	38	0	2,482	2,488	2,445	- 43	+ 76
お お い 町	22	22	22	0	1,380	1,352	1,326	- 26	+ 44
若 狭 町	72	72	72	0	3,083	3,077	2,990	- 87	+ 142
計	1,113	1,089	1,074	- 15	60,829	58,634	56,533	- 2,101	+ 2,264



高齢者の交通事故を未然に防ぐ活動

黄色点滅信号に 対する要望書提出

今年5月に黄色点滅信号運用中の福井市花堂ベル前交差点を横断中の72歳の男性がはねられ死亡する事故が起きました。今年に入り7月5日時点で福井南警察署管内の交通事故死亡者は6人、うち2名の方がこの交差点で亡くなっています。警察や交通安全協会などが現地視察し再発防止策を話し合った結果、黄色点滅信号の時間帯を短くすることも提案されましたが、警察は現在のまま運用を続けることを決めました。

「青信号と同じようにスピードを出す車が多く危険」「高齢者が道幅の広い道路を安全に横断するのは難しい」といった地元住民からの声を受けて、7月24日福井市花堂地区にある3つの老人会の代表者3名（花堂南睦会・日向会会長 西川 征男氏、花堂北睦会会長 野村 昭一氏、花堂南睦会副会長 伊部 正勝氏）が福井南警察署を訪れ、午後9時以降押しボタン式の信号に切り替える事を提案する要望書を提出致しました。

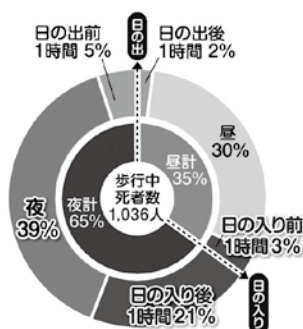
そして要望書を提出した直後の7月30日にも 500mほど離れた江端町の信号で54歳の男性がはねられ大けがをしました。

福井県警察本部は対応を検討した結果、事故現場の2つの信号について運用を見直す方針を決めました。具体的には、花堂南にある信号は点滅信号の運用開始を午後9時から午前0時に見直し時間を短縮、江端町の信号は点滅信号をやめて24時間通常の信号を運用となります。

今回の老人クラブの活動が点滅信号の運用について考えさせるきっかけとなり、交通事故を未然に防ぐ活動へとつながりました。

夕暮れ・夜間・早朝の歩行中におこる交通事故への対策

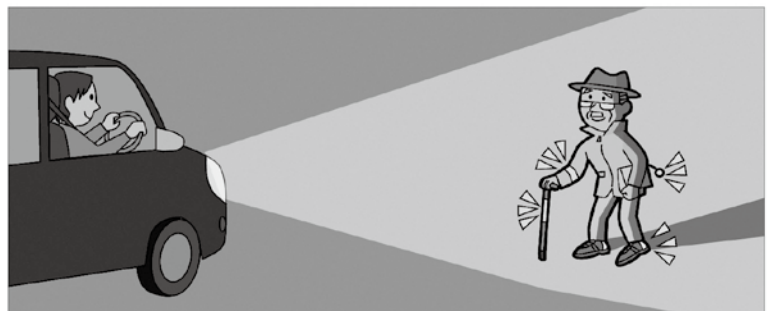
歩行中の死者数のうち
2割以上が夕暮れの時間帯！



対車両の歩行中死者数
(第1・第2当事者) (※)

対策

夕暮れから夜間、早朝は**反射材**を付けて、
自分の存在を車にアピール！車のライトがついていても、
ドライバーから歩行者が見えているとは限りません。



反射材は靴の側面やかかと、杖などに付けると効果的！
明るい色の服を着るだけでも効果があります。

※交通事故データは、2015年中の警察庁統計による

県老連事業報告

(4月～8月)

老人家庭相談員研修会

昭和45年から始まった老人家庭相談員制度。

老人家庭相談員は、福井県知事の委嘱（任期2年間）により、単位老人クラブに1名設置され、在宅寝たきり・一人暮らし・要援護高齢者の家庭を訪問し、話し相手になることを基本に活動を行っています。

7月に県下2ブロック（嶺南・嶺北）で老人家庭相談員と市町老連の女性部長1075名を対象に研修会が開催されました。今年は、任期1年目の年で、講演を通じて地域における老人家庭相談員の役割や活動の仕方について研修しました。

【開催日と会場・対象者数】

7月13日（木）嶺南ブロック

敦賀市福祉総合センター

対象者…321名

7月20日（木）嶺北ブロック

鯖江市文化センター

対象者…754名

【内容】

1. 講演

（福井県社会福祉協議会 地域福祉課 課長

杉本吉弘氏）

「受援力とご近助力を包む

地域づくりの結び目として」

『ご近助物語』

軽い知的障害のある「わたし」が生活のすべてを支えていた父の入院をきっかけに、町内の行事、ゴミ捨て等が理解できず地域の中で問題となった。そんな中「わたし」に声をかけ地域のみんなと話す機会を作ってくれた「たじまさん」。地域のみんなが「わたし」の障害を理解し手助けし役割を与えてくれることで地域の一員としてくれた。

排除するのではなく地域の人みんなで支え合うことを提案した「たじまさん」はこの地域の老人家庭相談員であり、助けを求めている人と地域とを結び結び目となっている。

助けを求めている人はな

かなか「助けて」が言いづら

い社会となっています。否定

的でもいいので関心を持つこ

とから地域とのつながりがで

き、地域の人みなで問題を



考え解決していくことで、みんなを受け止める住みやすい地域づくりを行い、その中で老人家庭相談員が人と人を結びつける役目を担っていることを『ご近助物語』を通して改めて感じました。

2. DVD 学習 「聴く喜び 話す喜び」

友愛活動で訪問家庭への実際の訪問事例をみて、訪問時のポイント、注意点等を学習しました。

3. 「高齢消費者被害防止について」

福井県消費生活センター

最新のオレオレ詐欺、高額医療費の還付金詐欺の手口とそれに対する対策編を寸劇形式で行い、詐欺への対処法について分かりやすく説明頂きました。

訪問先や地域で詐欺被害者を発見した時の対応や相談窓口・連絡先を確認しました。



困った時には二人で悩まず

☎1888へ相談

女性リーダーセミナー

8月3日～4日に灰屋（あわら市）において、市町老連の女性リーダーを対象に31名が参加し、「女性パワーで『活気あるクラブづくり』」～会員増強に向けて～」をテーマに研修会を開催しました。

【内容】

1. 講演①

（前） 石川県老人クラブ連合会事務局長

多田 正徳氏

「女子力で老人クラブも大きく変わる!!」

現在、会員の6割強が女性。世界の女性の教育水準も上がり、社会が女性の力を求めるように変化。

最も大切なことは、自主企画、自主運営の精神。

女性の積極性を引出し、活動に参加し、貴重な体験を積み重ねることが必要。

併せて、リーダーとしての責務は何より後継者を育てること。

「控え目が美德である」という時代は終わり。女性の視点を活かした「後年・若手・女性のバランスのとれた役員構成」のために「参加」から「参画」を目指すことが肝要。



平均寿命は毎年伸びているが、重要なのは健康寿命を伸ばすこと。それには、

- ・自分の居場所がある
- ・一緒に活動する友人がいる
- ・社会から必要とされることで生きがいを感じる

行政の保護中心の施策では高齢者は生きがいを得られない。「生きがい」とは、これまでの「趣味」や「教養・娯楽」から「社会参加」「社会貢献」への転換である。

2. 講演②

（夢みらい館・さばえ 館長 奥谷 崇氏）

「老人クラブの魅力を発信する」

～女性リーダーへの提言～

老人クラブの更なる復活・発展・改善のために

- ① 老人クラブのダメポイントを見つける↓改善
- ② 老人クラブの魅力を見つける↓PRしていく
- ③ マンネリやボスに依存しないで、偉ぶらず、威張らず、やる気をもつて笑顔で会員と協力できる人（達）が会長や役員となる↓組織全体が協働精神で協力できる
- ④ 老人クラブ会員の意識の向上充実を図る↓人任せ・無関心でなく自分が主役の意識を持つ。参加から参画意識への変換を図る。
- ⑤ 地域に老人クラブの魅力を発信する↓仲間を募り勧誘する

⑥ 地区民との連携作り↓地区行事への協力・懇親交流・研修会

PDCAサイクルで

の活動強化を図り、問題意識を共有し合う

P・・・計画

D・・・行動

C・・・チェック振り返り、

反省

A・・・action改善

3. 分散会

4つのグループに分かれ3つのサブテーマに沿って意見を出し合い、魅力あふれる活気あるクラブづくりについて協議を行いました。選択テーマでは多くのグループが「若手の加入について」を選択し話し合いました。

共通テーマ

「活気あるクラブづくりについて」

① 所属するクラブのセールスポイントを探す

- ・季節ごとにいろいろな企画を立てている
- ・サロン、サークル活動が活発
- ・単位クラブで代議員を出して女性委員会をつくり話し合っている
- ・スポーツクラブを発足しいつでもそこへ行くと身体を動かせる
- ・何でも話せる相談できる



② 「活気あるクラブづくり」に必要な条件

- ・健康であること
 - ・活動できる場所
 - ・魅力ある事業企画
 - ・PR広報展開
 - ・クラブ員の声をきくこと
 - ・一人が声高に叫ぶのではなく一人一人の心の中に参画の意識を持つ
- ③ 女性リーダーにできること（役割）
- ・人任せ・無関心にはせず、積極的に活動に取り組む
 - ・会員と同じ目線で企画する

選択テーマ「若手の加入について」

- ・クラブに入っても再就職でなかなか活動に参加できない、個人情報の問題で年齢が分からない等の問題がある。長期的に考えていく必要あり
- ・直接若手の人に今の老人会に何が足りないか聞いて、若手に先に立って行動してもらう

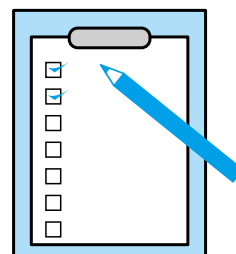
「役員になると大変」「若い人がいない」

などマイナス面を出すのではなく、楽しい面を出してすすめていく



自分が所属するクラブの自己点検をしてみましょう！

- ☐ 自治会や他団体との連携はできていますか？
- ☐ 地域や自治会主催の行事に参画していますか？
- ☐ 従来方式にとらわれず活動や運営方法に柔軟性がありますか？
- ☐ 若手や女性を積極的に登用して後継リーダーを養成していますか？
- ☐ 活動を会員はもとより非会員や地域にPRしていますか？
- ☐ 体験参加を呼びかける活動はいくつありますか？
- ☐ 会員全体で地域の未加入者に勧誘活動をしていますか？
- ☐ リーダーの役割分担、会員の協力体制は十分ですか？
- ☐ 会員の意向を把握していますか？



東海北陸ブロック老人クラブリーダー研修会

7月6日～7日、岐阜県高山市の「高山グリーンホテル」において平成29年度東海・北陸ブロック老人クラブリーダー研修会が開催されました。東海北陸ブロック6県・1指定都市から177名が参加し、本県からは20名が参加しました。

最初に全老連参事 岡本まゆみ氏より「高齢者を取り巻く社会情勢」、「老人クラブとしての運動・行動提案」、「老人クラブ補助金の活用」「よりよい単位クラブ活動のために」について基調報告が行われた後、飛騨千光寺住職で臨床宗教師としても活動されている大下 大圓師が「大楽に生きるワザ」という演題でユーモアを交えてお話しされました。

事例発表では「クラブの復活又は新設された事例」として八十島 幸雄県老連会長が行政と協力して取り組んだ活動内容について発表いたしました。発表された内容は次頁のとおりです。



事例発表

新地域支援事業への参画で新規クラブ結成

—サロン活動をととして介護予防と仲間づくり—

福井県老人クラブ連合会 会長

越前市いきいきシニアクラブ連合会 会長 **八十島 幸雄**

1. いきいきシニアクラブ連合会の現況

会 員 数 6,901名 (H28年 6,880名)

単位クラブ 127クラブ (H28年 121クラブ)

内30名以上 113クラブ

行政からの支援

2. 新地域支援事業への参画

いきいきシニアクラブ連合会も越前市(行政)からの要請に応じ、平成27年10月から「越前市介護予防・生活支援サービス協議体」に参画しています。

協議体の中では、互助の強化が期待される越前市(行政)の「つどい」と、いきいきシニアクラブ連合会の「サロン」の充実をはかり、地域とともに進めて行くという方向性が出されました。

いきいきシニアクラブ連合会の中では、サロンは会員のための介護予防や生きがいづくりの場であり、会員以外の参加には難色を示す者もありました。

しかし、介護予防は地域の高齢者の方々にとって大切なことでもあり、いきいきシニアクラブ連合会も協力し、同時に会員増強につなげていくべきとの結論になりました。

進めるにあたっては、運営、経費面について行政側に支援を求めました。

また、会員以外のサロンの参加者には地元クラブの会員になるよう、地域からの呼びかけの協力をお願いしました。

3. 「つどい」を支えてくれる関係者との合同会議

越前市(行政)主催で、いきいきシニアクラブ連合会も協力して年1回、「つどい」と「サロン」の関係者(講師や団体の担当者)による合同会議を開催しています。

会議では、講師や団体担当者とサロンの内容や日程等の調整を行い年間スケジュールを決めています。

会議の参加者は、午前と午後の2回で400名を超えます。

◎越前市(行政)からの、「つどい」開催に係る助成

イ、年間12回以上開催	60,000円
ロ、加算1(24回以上)	
高齢者が100人未満	36,000円
高齢者が100人以上	60,000円
ハ、加算2(子供と一緒に活動を年6回以上)	
高齢者が100人未満	48,000円
高齢者が100人以上	60,000円

◎越前市(行政)からの、会員拡大に係る支援

イ、新規単位クラブ設立	
20名以上	30,000円
15名以上19名まで	20,000円
ロ、新会員増数に助成(ただしサロンに参加のこと)	
30名以上	30,000円
20名以上	20,000円
16名～19名	15,000円
10名～15名	10,000円
5名～9名	5,000円
3名～4名	3,000円
1名～2名 1名につき	500円



合同会議



サロン

4. 単位クラブの立ち上げは同時に サロンの開設

◎新規クラブ立ち上げについて

新規に町内会長になられた方が、自町内の高齢化率の高さに驚き、また、老人会の組織もなく町内の支え合い活動に不安を覚えた、シニアクラブの組織づくりについて相談に見えられました。

いろいろ説明しお話しした結果、町内会長に自らクラブ会長を引き受けていただいで単位クラブを立ち上げ、サロンも同時に開設しました。

このことがきっかけとなり、いきいきシニアクラブ連合会の地区会長のリードのもと、同地区内の自治振興会の協力も得て5単位クラブが次々と誕生し（北府二丁目ひまわりクラブ、北府四丁目笑和会、蓬萊寿会、天寿会、府中二丁目長寿会）、同時にサロンも開設されました。

◎休会クラブの復活について

ある単位クラブが、5年前にリーダー不在で休会になりました。休会になったクラブの会員より、スポーツ大会やニュースポーツ競技に参加したいとの希望がよせられ、いきいきシニアクラブ連合会においてクラブの復活に努めましたが、なかなか話が進まず2年が経過してしまいました。

今回の「つどい」の開設を進める中で、町内会長のご理解をいただき、リーダー候補者を紹介してもらい、その方に対して行政の担当者、町内会長、いきいきシニアクラブ連合会とで協力をお願いし、本年4月ようやく再スタートすることが出来ました。サロンの開設も順次進めています。

休会のクラブ立ち上げには難しいものがありました。

5. これからの取り組みについて

越前市内の「つどい」（サロンも含む）は、平成29年4月現在で198箇所設置されており、内140箇所において年12回以上開催されています。

これからは全町内に1箇所のサロンの開設が望ましいと考えており、今後とも行政側と将来に向けて話し合いを重ねながら、会員と共にサロンを育てるとともに、サロンの開設をととして新規単位クラブの立ち上げや会員の増強を図ってまいりたいと考えています。

「つどい」「サロン」の関係者

No	内 容	事業所名
1	健康講話	越前市社会福祉協議会地域包括支援センター
2		しくら地域包括サブセンター
3		あいの樹地域包括サブセンター
4		地域包括サブセンターメゾンいまだて
5		地域包括サブセンター和上苑
6		地域包括サブセンター丹南きらめき
7	音楽療法 介護予防教室	天 勝 まゆみ
8		上 島 由 美
9		黒 川 洋 子
10		齊 藤 京 子
11		野 瀬 千 晶
12	運動 介護予防教室	(株)エル・ローズ スポーツクラブ ルネッサ越前
13		NPO 法人 生涯体育学習振興機構
14		NPO 法人 福祉医療等連携交流協会
15		NPO 法人 ライフスタイル研究所
16		(有)ほっとリハビリシステムズ
17	口腔介護予防教室	歯科衛生士 代表 田畑 絵子
18	栄養介護予防教室	福井県栄養士会
19	薬の話介護予防教室	丹南センター薬局 薬剤師 加藤 守男
20	市政出前講座	秘書広報課
21	交通安全の話	越前警察署 交通課
22	特殊詐欺被害防止の話	越前警察署 生活安全課
23	救急講話	南越消防組合
24	防火講話	南越消防組合
25	悪質商法対策	越前市消費者センター
26	年金、相続、税金、 金融経済等の出前講座	福井県金融広報委員会出前講座
27	ほくでんエネルギー	北陸電力丹南支社
28	手芸、折り紙等趣味講師	越前市シルバー人材センター
29	ハーモニカの演奏	ハーモニカの郵便屋さん
30	かみしばい	西岡 義勝

悪質業者は高齢者を狙っている！！

振り込め詐欺や悪質業者から身を守りましょう！

必要なければ、慌てず、はっきり
「いりません！」「お断りします」と伝え、電話を切りましょう！

平成28年度相談より

○自宅に突然電話がかかってきて、「電話代が安くなります」「インターネットが今より安くできます」などと言って勧誘され、とりあえず考えてみるつもりで「はい」と答えたら契約が成立してしまった。翌日解約しようと電話をしたが連絡がつかず、電話代は安くならなかった。

○近所で安くパンや日用品などを配っているというので出かけると、健康に関する楽しい話が聞けた。毎日通っているうちに、高額な健康器具や健康食品を勧められ、今までいろいろ貰っていたし、断り切れず購入してしまった。

○携帯電話に、覚えのない請求のメールが突然届いた。「財産を差し押さえる」「裁判になる」などと書かれていてとても怖い。確認したいと思い電話をしたら、高額な請求を受けた。しつこいので支払ったら、次々請求が来るようになった。

見守りポイント

- 見慣れない商品が部屋の中に増えていないか。
- お金に困っているような様子はないか。
- あまり出かけない人が頻繁に外出したり、電話の頻度が増えたりしていないか。
- 見慣れない業者の出入りや、名刺・パンフレットなどがないか。

気づいた時の対処法

- 「おかしいな？」と思ったら、本人に確認する。
- 消費者トラブルのようだと感じたら、本人とともに消費生活センターに相談する。
- 気づいた時点ですぐに相談する。



お金の話が出たら まず断って！

困ったときには一人で悩まず ☎188(いやや)へご相談ください。

「おかしいな」「困ったな」と思ったら、まずは消費生活センターへご相談ください

福井県消費生活センター

☎(0776) 22-1102

嶺南消費生活センター

☎(0770) 52-7830

嶺南センターは第3日曜日は休館